

シェアハウス No.7
どれみふあ荘



雨だれ??

漫画：東園子



松井先生、学研キッズネットで連載スタート!

子育てを応援する松井美香先生のコラム、学研キッズネット for Parents ～くやまない、悩まない、自分を責めない～「心がラクになるアドラー流子育て」の連載がスタートしました。ぜひご覧ください!

<https://kids.gakken.co.jp/parents/category/learning/>

叱られたり、褒められたりして育った人は、叱られたり、褒められたりしないと行動をしなくなる。そして、評価してくれない相手を敵だと思ってしまうのだ。

(アルフレッド・アドラー「人生に革命が起きる100の言葉」ダイヤモンド出版 小倉広著より)

前回もお伝えしたように、褒める(賞)や叱る(罰)だけで育てると、それが与えられなくなった時に、子どもは自分の課題に取り組みなくなる恐れがあります。罰を与えることや叱ることに関しては、多くの指導者や保護者が十分に配慮していることと思います。が、褒めることや賞を与えることに関しても、少し注意が必要ではないかと思うのです。なぜならば、褒められることに慣れてしまった子どもは、評価しない相手を敵とみなし、「なぜ褒めてくれないのか?」と責めるケースもあるからです。では、具体的にはどのようにすれば良いのでしょうか?

アドラー心理学関係の書籍を多数出版されている岩井俊憲氏による「ヨイ出し」(「ダメ出し」の反対の言葉)は、子どもたちのやる気を促す勇気づけの言葉かけであり、態度です。私は「褒める」代わりに、この「ヨイ出し」を強くお勧めしています。ピアノを幼少から習っていた指導者や保護者の皆さんの中には、もしかしたら、先生やご両親に「ダメ出し」されて育った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そういう私も、かつて生徒だった頃、先生に、できていない部分を繰り返し指摘され、落ち込んだ経験が何度もあります。それを全て否定するつもりはありませんが、やはり、そればかりでは、子どもたちは勇気をくじかれ、やる気を失っていきます。ですと、できていないところに注目するよりも、良いところ、できていることに、もっと目を向けてみるのです。さらには、当たり前と思っているようなこと——レッスンに来てくれることや、ピアノに興味を持っていること等——にも注目し、感謝の気持ちを伝えてみてください。この方法を継続していけば、子どもたちは「自分には力がある、できる」という自信を持てるようになります。その自信が困難に立ち向かう勇気となり、持っている能力を最大限に伸ばすことができるようになっていくのです。例えば、「この曲は難しいけれど、大好きだから、頑張って毎日練習に取り組む」というような、子どもたちの心の内側からやる気が湧いてくるサポート＝ヨイ出しは、褒めるよりも優れた導き方であると思います。読者の皆さんも、今日から意識してみられてはいかがでしょうか。

松井美香 まつい・みか
「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研「愛のピアノレッスン」にて手記を執筆。
<HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuumika-piano.net>
<ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>
*無料メルマガ好評配信中(ご登録はブログにてお知らせしています)



第28回



レベルアップする生徒さんのために次の準備をはじめませんか?

ぴあのどリーむ 夏の応援BOX

7月初旬発売予定!

夏の応援BOX(内容) ■本体価格5,600円(税別)

夏の応援BOXを購入すると特典がついてくる!

購入者特典

【限定】おんがくのーと2段×4冊 (絵柄は2種類)

ごほうびシール×1枚

ぴあのどリーむ テキスト第2巻×2冊

ぴあのどリーむ テキスト第3巻×2冊

ぴあのどリーむ お試し版×2冊

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

学研も おんがく通信

TAKE FREE 月号

さわやかな初夏の季節となりました。新しい生徒さんと打ち解けている頃と思いますが、レッスンで悩んでいることはありませんか? 例えば、レッスンに集中して取り組める方法など。「今月のあかね先生」は「教えて!ピアノ・レッスンのあれこれ」です。先生のセミナーで受講者から多く寄せられる質問にお答えします。(お)

2016年5月25日

究極の名盤を聴く⑧ シューベルト 即興曲集 D.899,Op.90 / D.935,Op.142

23人の音楽評論家が選んだ究極の名盤ガイド『クラシックCDエッセンシャル・ガイド150』をもとに、歴史に残るピアノ曲の名盤をご紹介します。今回は、シューベルトの《即興曲集》をご紹介します。ロマン派の開拓者の一人であるシューベルトは、わずか31年の生涯で600以上の歌曲を作曲し、「歌曲王」として音楽史上に名を残しました。歌曲の他にも様々なジャンルにおいて傑作を生み出しましたが、ピアノ曲のなかでは、自由気ままに書いた小品に優れたものが多くあります。《即興曲集》もそのひとつです。

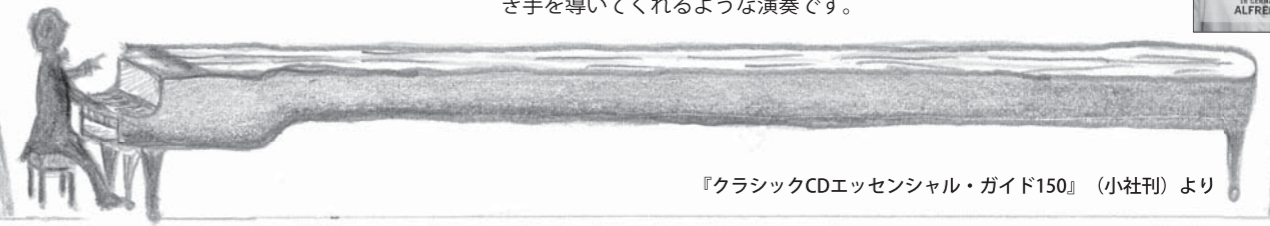
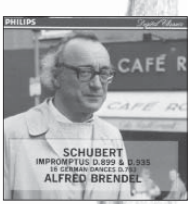


- 名盤 BEST 5
1. ラドゥ・ルプー [デッカ/UCCD-4566 (SHM-CD) /1982年]
 2. マリア・ジョアン・ピリス [ドイツ・グラモフォン/UCCG-4840~1 (SHM-CD) /1996,97年]
 3. アルフレート・ブレンデル [フィリップス/PHCP-10539/1987,88年] (廃)
 4. 内田光子 [デッカ/UCCD-50029/1996年]
 4. フリードリヒ・ゲルダ [DENON/COCO-80525 (Op.90のみ) /1963年] (廃)
 4. イェルク・エーヴァルト・デーラー (Cemb) [Claves/CD500509/1975年] (廃)
- (廃)=廃盤

ラドゥ・ルプー Radu Lupu [1945- (ルーマニア)]
ルプーは「千人に一人のリリシスト」と呼ばれています。《即興曲集》では、ふくやかな叙情溢れる音楽に多彩なニュアンスを織り交ぜ、自身の持ち味を十二分に打ち出しています。表面的には少し抑制されたような語り口ですが、その中に隠れるシューベルトが書き記した不安や苦悩・絶望・諦めなどのデリケートな感情が、悲しいまでに美しく表現されています。

マリア・ジョアン・ピリス Maria João Pires [1944- (ポルトガル)]
90年代の半ば、ピアニストとして新境地に立ったピリスは、個性を刻み込んだ名演を多く披露しました。《即興曲集》もそのひとつで、この曲集はイヴ・シモンの『旅人』に関する言葉を添えて発表しました。曲集全体を「シューベルトの心の旅」と考えていることからです。追憶、憧憬、悲哀、せつなさ、はかなさ...すべてをひっくりかえすような演奏です。

アルフレート・ブレンデル Alfred Brendel [1931- (チェコ)]
ブレンデルが弾くシューベルト作品は、安定と調和を聴き手に強く意識させるところがあります。決して激しすぎず、過激な情緒に溺れない...中庸の落ち着きのある表現が、精神的なやすらぎをもたらしているようです。強引に自分の世界へ引っ張っていくとせず、自然に聴き手を導いてくれるような演奏です。



『クラシックCDエッセンシャル・ガイド150』(小社刊)より

田丸先生が楽譜へこめる想い episode 01

田丸先生の最新シリーズ《予習と復習のためのおうちでもできる!》の〈おんがくドリル①〉と〈おんがくワークブック①〉が発刊されました!もうご覧いただけましたでしょうか?すでに発刊されているシリーズと同じく、今回の新刊にも田丸先生の“想い”がたっぷり詰められ、随所に先生のこだわりが隠されています。例えば、「4ぶおんぶ」のカリキュラムで示される見本の4分音符もミリ単位で調整して、見やすさにこだわっています!(か)

編集部の一問一答!

学研・音楽事業室の編集スタッフに音楽の好きなところ、自分だけのこだわりなどを聞いてみよう!というコーナーです。

- 今月の回答者: (の)
- Q: 学生時代、何部でしたか?
A: 吹奏楽研究部
- Q: 担当楽器はなんですか?
A: トロンボーン(時々チューバ)
- Q: 担当楽器の好きなところ
A: 見た目の主張が激しいところ

教えて！ピアノ・レッスンのあれこれ

あかね先生のセミナーで受講者の方から多く寄せられる質問にお答えします！



幼稚園の生徒がなかなかレッスンに集中できなくて困っています。小さな子どもでも楽しく集中してレッスンに取り組めるような内容の組み立て方を教えてください。



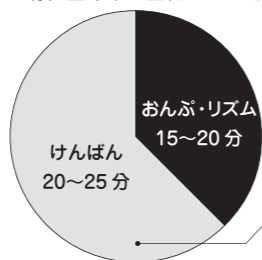
小さな子どもが長時間ひとつの物事を続けるのは、なかなか難しいことですよね。あかね先生から教えていただいた組み立て方のポイントは「生徒さんを座りっぱなしにさせない」こと。レッスンの内容を一定時間で切り替えることで、小さな生徒さんでも飽きずに取り組むことができます。

例えば、ある年中の生徒さんの場合、レッスン時間 40 分のうち、前半15～20分を「おんぶ」と「リズム」の学習、後半20～25分は「けんぱん」の学習という風に切り替えています。前半は『おんぶカード』を使った、ゲーム感覚で取り組める音当てクイズや、身体を使った両手打ちなどの要素を盛り込み、楽しみながら「おんぶ」と「リズム」の基礎固め。後半は『けんぱんボード』や実際のピアノを使って、音と鍵盤を一致させる訓練をします。そして、最後には『ちいさなおんがくかい』の曲を、先生と連弾！ピアノを弾く楽しさを体感してもらいます。

「楽しみながら、いつの間にか身につく」あかね先生のレッスン。これはあくまで一例で、生徒さんの性格や進度によって、レッスン内容の組み立て方や使用教材は変えていっちゃいます。よろしければ参考にしてみてくださいね♪



ある幼稚園年中の生徒さんの場合



レッスン歴：約半年
レッスン時間：40分

<レッスン内容例> おんぶ・リズム
・『おんぶカード』で音当てクイズ
・『リズムのほん』や『リズムのほんワークブック』で両手うちの練習

<レッスン内容例> けんぱん
・『けんぱんボード』を使って「み」の位置にピースを貼る
・『ちいさなおんがくかい①』に沿って、「み」の音と鍵盤を一致させるレッスン
・「み」の音を使った「キャンディー・ワルツ」を先生と一緒に連弾

今月のセミナースケジュール

- 6/3 (金)：[岐阜県/高山] 高山市民文化会館 『楽しくおぼえる「おんぶ」と「けんぱん」のレッスン』
- 6/14 (火)：[千葉県/千葉] ヤマハミュージッククリテイリング 千葉店 『子どもが飽きない「リズム」のレッスン』<リズム・セミナー/導入編>
- 6/21 (火)：[千葉県/佐倉] 伊藤楽器 臼井センター 『ピアノ・テクニックのレッスン法～すてきな音をならしましょう～』<テクニック・セミナー/発展編>
- 6/29 (水)：[長野県/佐久] ヒオキ楽器 カンタービレ (佐久平店) 『「譜読み」の基本を身につけるレッスン』

5 曲目は A. エルメンライヒ (1816-1905) 作曲の〈紡ぎ歌〉です。今回は 4 ページもある長い曲ですから、弾き切る力を養うことがポイントになります。調性はヘ長調。調号はフラットがひとつです。

1. タイトル、速度標語、作曲家、形式から曲の様式を把握する。
2. 音型やリズム、和音から理論的に表現を考える。
3. ほしい音を出すための指や手首、腕の使い方を決めて、練習の指針にする。

それでは、攻略法にしたがって順にみていきましょう。

発掘！ オリジナル攻略法

No.6

～典型的な伴奏型の弾き方～

〈紡ぎ歌〉エルメンライヒ作曲
『新選ピアノ名曲 120 初級 (P.48)』収録

効率的に譜読みをしよう (様式)

前回の〈はじめての悲しみ〉同様、19 世紀中頃にたくさん作られた性格的小品です。Allegretto は「やや速く」という意味。「紡ぎ歌」とは糸車で糸を紡ぐときの歌です。エルメンライヒはドイツの宮廷劇場の俳優で、詩人、作曲家としても活動しました。オペラも作曲しましたが、現在ではこの曲が知られているだけのようです。第1～26、27～51、52～82小節が、第①、②、③部になります。さらにそれぞれの部は3つの部分に分けられます。複合三部形式という安定感のある形式です。この曲では、一定のテンポを保ちながら伴奏を刻んで、糸車が回る様子を表現してみましょう。楽しそうな糸紡ぎの風景がイメージできると理想的ですね。また、「第①、③部はほぼ同じだから譜読みはラク！」と考えることが、長い曲を攻略するコツです。

subito p をマスターしよう (理論)

動機のリズムは16分音符で始まり、8、4分音符の組み合わせが2回続きます。音域はオクターヴ上がっています。シンコーションにつけられたアクセント、スタッカート、最後のテヌートを丁寧に弾けば、楽しい感じが表現できます。第3、4小節はクレシェンド、第5、6小節はデクレシェンドしてフレーズをまとめましょう。第②部のメロディーは同じリズムで繰り返されるため、単調になりがちです。変化する調性ごとに右手と左手のバランスを変えて、色彩感に富んだ表現を工夫してください。第50、51小節はクライマックスです。指示どおりにギリギリまで cresc. して、少し間を置いてから p の第③部に入ると効果的です。この表現法は subito p (スピト・ピアノ) といって、ベートーヴェンの作品などによく使われていますから、マスターしましょう。

典型的な伴奏型の弾き方 (カラダ)

習得したいテクニックは、第43～49小節の伴奏型の弾き方です。3拍子のワルツなどにもよく見られる典型的な伴奏型です。



バスはしっかり小指を動かして捉えます。同時に腕全体の重みもかけるようにします。おろそかなタッチにならないように鍵盤を底まで下げて下さい。内声部よりも重みのある音を出すことに気をつけましょう。内声部は前腕の重みを軽くかけて、重音を軽くつまむように弾きます。底まで鍵盤を下げたあとは、ためらいがちに鍵盤を離すことがコツ。手首は柔らかく使ってください。

今回はリヒナー作曲の〈ジプシー・ダンス〉をご紹介します。



黒田篤志 くらだ・あつし

1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室“Lento レント”を主宰するかたわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
http://ameblo.jp/pianote0519/



長崎ブラバンガールズ

藤重先生と活水吹部7か月の奇跡

～藤重先生の指導メソッドより①～

学研から大人気発売中の『きばれ！長崎ブラバンガールズ～藤重先生と活水吹部7か月の奇跡』では、感動のドキュメンタリーとあわせて、名吹奏楽指導者である藤重佳久先生による「ミラクル吹奏楽メソッド」を掲載しています。そこには吹奏楽指導だけでなく、あらゆる音楽指導にも役立つ内容が盛り込まれています。そこでその中から特別にいくつかのメソッドを今月と来月の2回に分けて、ご紹介しましょう。

■生徒を飽きさせない練習をするためには？

何事もダラダラやっていると、生徒は飽きてしまいます。そのためには、練習に変化をもたせることが大切です。どうやって変化を出すかという、例えば1つの曲を合奏していたとしたら、冒頭から始めるのが普通のやり方ですが、いきなり真ん中あたりから始めたり、最後のほうをやったりします。いつも冒頭からやっていると後ろのほうはおろそかになりがちですし、生徒も「またか」とマンネリになってしまふでしょう。いきなり後ろのほうから始めると、生徒は「こんなところからスタートするんだ！」と意外に思って、それが刺激になりますね。課題曲を練習している途中で自由曲の練習に変えたり、シンフォニックな曲の途中でポップスに変えたりする方法もあります。

あるいは、合奏中に生徒のいる場所を変えさせるのもいいでしょう。トランペットはいつも後方にいますが、最前列やあちこち散らばらせて吹かせる。そうすると、トランペットにしても、他の楽器の子たちにしても、今まで気づかなかった音が聞こえるわけです。それが発見になり、刺激になる。飽きることもなくなりますね。

僕は「1年生だけで演奏して」「はい、じゃあ、次は2年生だけ」といったこともやります。そうすると、3年生はドキドキします。トリを飾るわけですから、自然と緊張感を持って頑張るようになります。

個人練習・パート練習・全体練習をする場所を変えていく方法もあります。いつもの音楽室、いつもの教室ではなく、ホール練習をしたり、屋外でやったりするといいでしょ。

僕は「生徒が飽きてきたな」と感じると、楽器も持たずに外に連れ出すことがあります。それだけで気分転換になりますし、楽器がなくても口合奏はできます。口合奏では、テンポや音楽表現のチェックができます。

たまに合奏を人に聴いてもらうのもいいでしょう。顧問以外の先生方や保護者に来ていただいて。生徒にとっては刺激になり、また、度胸がつくという効果もあります。

ともかく、何でもあり！工夫とひらめきで、練習に変化をつけましょう。(『きばれ！長崎ブラバンガールズ』P.87-88より)

発売中



きばれ！ 長崎ブラバンガールズ

藤重先生と活水吹部7か月の奇跡

藤重佳久・オザワ部長共著
■四六版/208頁/本体価格1,300円(税別)

無名の吹奏楽部を、赴任からわずか7か月で全国大会初出場に導いた名指導者・藤重佳久先生を『あるある吹奏楽部』オザワ部長が追跡取材！初出場までの日々のドキュメンタリーと、吹奏楽指導・関係者の誰もが知りたい藤重先生の吹奏楽指導論(メソッド)を一冊にまとめました。

Music Quiz

6月15日はグリークの誕生日！

グリークがコンサートの時に
お守り代わりに持っていたものは何でしょうか？

- ① クマの人形
- ② カエルの人形
- ③ トロールの人形 (トロール…北欧で伝承されている妖精)

答え：②カエルの人形
グリークはノルウェー出身なので、③が答えだと思った方もいらっしゃると思いますが、正解は②。グリークは演奏の前に、小さなカエルの人形をポケットにいれて、心を落ち着かせるためにこすりあわせていたとか。なんとかわいらしい…！ノルウェーにある「エドヴァルドグリーク博物館」では、このカエルの人形が展示されています。この博物館では、毎年イースターの時期に、展示スペースからどこかへ逃げたカエルの人形を探すイベントが行われているようです♪

エドヴァルド グリーク博物館 (ノルウェー語/英語)
http://griegmuseum.no/

新刊情報
楽譜 弾きたい！聴きたい！感動のピアノ名曲

『弾きたい！聴きたい！ピアノ名曲』シリーズ完結！！



◆『感動のピアノ名曲』は、結婚式や祝典などのお祝い行事にぴったりな選曲です。付属CDをそのままBGMに使用してもGOOD!
◆ピアノ名曲に手軽にチャレンジできるよう演奏アドバイス&参考演奏CD付き！
◆演奏だけではなく、鑑賞もお楽しみいただけます。
■菊信版/48頁/本体価格1,000円(税別)/CD付き

- 収録曲
- ・婚礼の合唱(ワーグナー)
 - ・結婚行進曲(メンデルスゾーン)
 - ・アルプスの鐘(エステン)
 - ・ワルツ(デュラン)
 - ・春へのあこがれ(モーツァルト)
 - ・エコーズWo.083(ベートーヴェン)
 - ・アンダンテ・グラツィオーソ 変長調(ハイドゥン)
 - ・英雄ポロネーズ(ショパン)
- 全8曲